平成３１年度学校自己評価システムシート（さいたま市立浦和高等学校）　（学校番号　ｓ４７）

目指す学校像	中高一貫校として特色ある取組を進めるとともに、高いレベルの教育活動を積極的に展開し、明るく活力があり、高い志をもって輝き続ける生徒を育成する。

重点目標	１中高一貫校の特性を活かした質の高い学びを展開する。 ２「文武両道」の理念に立ち、バランスの取れた教育活動を進めるとともに、第１志望の進路を実現する。 ３国際理解教育の充実と開かれた学校づくりの推進を図る。

達成度		
	A	ほぼ達成　（８割以上）
	B	概ね達成　（６割以上）
	C	変化の兆し　（４割以上）
	D	不十分　（４割未満）

※重点目標は３つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価								学校関係者評価
年度目標					年度評価（　月　日現在）			実施日　年　月　日
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等
1	中高一貫校の特性を活かした多様な教育活動を進め、内進生と高入生が切磋琢磨し、進学実績の向上に繋げる一方、特色化を更に進め、他の中高一貫校との差別化を明確にすることが課題である。 学習指導要領の改訂や高大接続改革等を踏まえ、主体的な学びや４技能の向上への取組は進みつつある。目指す人間像・学校像を明確にし、３または６年間を見通して中高一体の教育課程の見直しと授業改善により、更に質の高い学びを充実させる必要がある。	・中高一貫教育の特性を活かした指導の充実 ・中・高連携体制の一層の強化	①中高合同教育活動を充実させる。 ②中高一貫校の特性を生かした内進生・高入生の教育課程の見直しを行う。	①評価アンケート「中高連携の満足度」等の肯定的回答数。 ②中高一貫としての教育課程の検討の進捗。				
		・学習指導要領や高大接続改革を踏まえた具体的な対応の検討と実施 ・教員の指導力の向上と授業改善による質の高い学びの充実	③学習指導要領の改訂を踏まえ、目指す人間像を明確にした教育課程を検討する。 ④大学入試改革に対応した具体的な取組を検討、実施する。 ⑤アクティブラーニング等の授業改善の充実と、高いレベルの学習指導を実施する。	③進学校としての教育課程の検討の進捗。 ④教科による、大学入試改革に対応した取組の進捗。 ⑤評価アンケート「授業の満足度」等の肯定的回答数。				
2	第１志望への進学希望を諦めさせない高い志の育成はスローガンとして定着しつつある。一方、生徒や保護者の期待に応える高いレベルの授業と、計画的で戦略的な進路指導を展開し、進学実績の更なる向上を図る必要がある。 部活動や学校行事へ積極的に取り組み、成果を上げている一方で、不安や悩みを抱えた生徒への対応、働き方改革を踏まえ伝統校としての良さを考慮した行事の見直しなど、より充実した学校生活となるよう改善を図りながら、高いレベルの「文武両道」を実現できる「スーパー進学校」を目指す。	・計画的・戦略的で組織的な進路指導の実施 ・生徒・保護者と連携した、個に応じた指導の充実	①進路指導部と学年が連携し、計画的で戦略的な進路指導を進め、第１志望を諦めさせない指導の定着化を推進する。 ②学習マラソン、個別指導や補習授業を充実させ、生徒や進路関連の的確な情報を提供する。	①ｾﾝﾀｰ試験９００点満点受験者数。 ②第１志望の進路実現率、国公立大学・難関大学・医学部等の合格者数。				
		・働き方改革と部活動や学校行事の奨励と積極的支援 ・教育相談を踏まえた、意欲的で均衡の取れた教育活動	③部活動の推奨と積極的な活動支援を行う。 ④ガイドラインに沿った部活動の実践と、効果的な教育相談の体制の強化を行う。	③部活動等、顕著な生徒の活躍実績。 ④ガイドラインに沿った部活動の実施状況、教育相談会議の実施数、行事の見直し検討の進捗。				
		・市立浦和に相応しい生徒指導の充実・徹底	⑤挨拶の励行、ルールの遵守、登下校の安全とマナー、いじめ防止、ＳＮＳの安全な利用等、生徒の社会性の向上を図る。	⑤評価アンケート「生徒規律に関する項目」の肯定的回答数。				
3	姉妹校交流や修学旅行、留学、部活動海外派遣など、多彩な国際交流活動を展開している。また、本校独自の戦略的な海外研修の教育効果が認められ、市の事業に移管するなど、広い視野と高い英語力、国際感覚を身につけた人材の育成が進められている。これらを更に推進し、広く市内に還元する必要がある。 ＨＰの閲覧数や土曜公開授業の来校者が増え、志願者も増加している。学校説明会、中学校訪問、地域連携などの機会を活用し、本校の教育活動を更に積極的に発信する必要がある。	・安全な海外派遣の企画等、国際理解教育の更なる推進と、市事業等の積極的な活用	①安全な計画に基づいた姉妹校交流、海外修学旅行、留学等を充実させる。 ②最先端イノベーションプログラム、部活動海外派遣等の活用による国際交流機会の提供。	①国際交流事業への参加生徒の満足度と事故のない実施。 ②市事業等への参加生徒数。				
		・積極的な学校情報の発信と地域連携の充実 ・生徒募集の充実	③ＨＰ、メール配信等で学校情報を積極的に発信する。 ④地域連携活動を推進する。 ⑤土曜公開授業や学校説明会の内容を充実させる。 ⑥校外学校説明会、中学校訪問、中学校生徒・ＰＴＡ見学を積極的に受け入れる。	③情報発信数と閲覧件数。 ④地域と連携した取組数。 ⑤土曜公開授業、学校説明会の参加者数。 ⑥生徒募集活動の実施数。				